

## 指定管理者評価シート

事業名	北方自然教育園運営管理	所管課(電話番号)	教育委員会学校教育推進課(211-3851)
-----	-------------	-----------	------------------------

### I 基本情報

<b>1 施設の概要</b>			
名称	札幌市北方自然教育園	所在地	札幌市南区白川1814番地
開設時期	昭和63年	延床面積	2076㎡
目的	市民が北国の自然環境の中で体験的・創造的に学習できる場を提供するとともに、動植物に関する標本展示等を行うことにより、市民の教育および文化の向上に資する。		
事業概要	稲作・畑作の体験、幼稚園・学校で扱う教材用生物の提供、標本の展示及び動植物の生態観察の場の提供、教職員の研修の場の提供、親子対象の自然体験学習会の実施。		
主要施設	学習館、第1温室、第2温室、倉庫、野外物置		
<b>2 指定管理者</b>			
名称	北方コンソーシアム「(公財)さっぽろ青少年女性活動協会、(NPO)ネイチャープログラムデザイン」		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	統括管理業務、施設・設備等の維持管理に関する業務、事業の計画及び実施に関する業務、施設の利用等に関する業務、管理業務に付随する業務		
<b>3 評価単位</b>	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

## II 令和5年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>「北方コンソーシアムによる安定的かつ持続可能な施設運営」を事業方針として、構成団体である「公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会」(以下STYAA)、「特定非営利活動法人ネイチャープログラムデザイン」(以下NPD)それぞれの得意分野を生かした新たな運営体制を整え、SYAAの管理運営実績や健全運営のノウハウとNPDの持つ農業に関する知識と経験、農業体験や自然体験指導のノウハウを十分に活かし、安定的かつ持続的な施設運営に努めた。</p> <p>また、学校教育のサポート施設として、直接体験の大切さを伝えるとともに、限られた時間の中で効果的な学びや体験ができるよう学校補助教材の開発、学校等の事前事後学習に活用できるよう水田や畑作、果樹の生育状況をブログやSNSを活用して発信し、理解と学びを深める機会を創出できるよう取り組んだ。</p> <p>そのほか、市民が利用しやすい施設を目指し、施設の認知向上を図るための効果的なアプローチに取り組んだ。</p>	<p>本施設の目的や方向性を定期的に職員間で共有し、意思統一を図りながら運営に当たることができた。また、コンソーシアムとして、効率的な業務分担を図り、施設管理における経費等の健全運営と、目的の第1義である、「子どもたちを中心とした自然体験活動機会の提供」を図ることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>コンソーシアム構成団体内で役割分担を行うことで、農業体験や自然体験活動等の安定的な管理運営に繋げていた。また、SNSでの情報発信を活用し、水田等の生育状況を伝えるなど、実際の体験にとどまらず、学校での学習を補助できるような取り組みも実施している。また、施設利用者へのアンケートも引き続き実施し、利用者のニーズに答えられるよう努めている。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>コンソーシアム構成団体内で役割分担を行うことで、農業体験や自然体験活動等の安定的な管理運営に繋げていた。また、SNSでの情報発信を活用し、水田等の生育状況を伝えるなど、実際の体験にとどまらず、学校での学習を補助できるような取り組みも実施している。また、施設利用者へのアンケートも引き続き実施し、利用者のニーズに答えられるよう努めている。</p>			
	A	B	C	D							
	<p>コンソーシアム構成団体内で役割分担を行うことで、農業体験や自然体験活動等の安定的な管理運営に繋げていた。また、SNSでの情報発信を活用し、水田等の生育状況を伝えるなど、実際の体験にとどまらず、学校での学習を補助できるような取り組みも実施している。また、施設利用者へのアンケートも引き続き実施し、利用者のニーズに答えられるよう努めている。</p>										
	<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>平等利用について、職員間で十分に情報共有を図り、障がいのある方や車いすの方なども関係なく、利用される市民の方々全員に対して、公平で平等なかかわりができるような環境を整えた。</p>	<p>地方自治法第244条を遵守するとともに、条例をはじめとした各種関係法令を鑑み、利用者に対して公平かつ平等に対応し、安心してご利用いただける環境を維持することを、全職員が共通認識のもと、運営にあたり、実現することができた。</p>									
<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>環境配慮の観点から、日常的な節電対策として小まめな消灯などを行ったほか、 unnecessaryな印刷物の削減やペーパーレス化、デジタル化など、職員全体で意識的に温暖化対策に取り組んだ。</p>	<p>環境マネジメントについて日常的に話し合いながら、環境に配慮した行動を意識して取り組むことができた。</p>										
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>統括責任者、職務代理者を配置し責任の所在を明確にするとともに、コンソーシアムとして、各構成団体職員の役割を明確にした組織体制を確立した。また業務に必要な専門的な知識技術にかかわる研修のほか、OJTを通して人材育成に努めた。</p> <p>雇用環境の維持向上においては代表団体である「さっぽろ青少年女性活動協会」の雇用環境に準じた環境を確保し、労働基準法等、雇用に関する法令を遵守した環境維持に努めた。</p>	<p>事務分掌による業務の役割分担のほか、緊急時の連絡体制など、指揮命令系統を明確にし、職員間の情報共有も十分に行い、効率的に業務を遂行することができた。また、法令を遵守した雇用環境維持を図ることができた。</p>										

## ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

朝礼時の業務進捗確認や情報共有を図り、適宜業務内容の見直しに努めた。また、避難訓練などの実施により、非常時における職員の役割を再度確認し、有事の際の市民誘導などが滞りなく行われるように整備を行った。

接遇研修を含む各種研修を実施し、公共施設の職員としての高い接客の水準を維持することができた。運営協議会や所管局に進捗を報告しながら連携を図り運営を進めることができた。

## ▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

専門知識や経験を有する業務については業者の入札等を実施し、委託を行った。その際には委託契約先に暴力団や暴力団関係者を契約相手としないなど、暴力団排除に取り組んだ。

委託した業務によって、試飲サービスの向上や利用者の安全性を確保することができた。

- ・機械警備業務
- ・設備保守点検業務
- ・自動扉開閉装置保守点検業務
- ・除雪業務
- ・消防設備点検業務
- ・特別清掃業務
- ・建築設備定期検査
- ・特定建築物定期検査

## ▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 令和5年 6月12日 (対面開催)	・令和5年度札幌市北方自然教育園事業計画について ・令和5年度上半期の運営状況報告
第2回 令和5年 12月14日 (対面開催)	・札幌市北方自然教育園令和5年4月～11月の運営状況報告 ・札幌市北方自然教育園 令和5年4月～11月のアンケート調査結果報告

運営協議会を年2回実施し、各委員の皆様より業務における提案などを頂戴し、一部は以後の業務に反映することができた。

## &lt;協議会メンバー&gt;

札幌市立藤野小学校校長 本堂 孝夫  
白川地区町内会会長 藤澤 肇  
北海道薬科大学名誉教授 坂東 英雄  
札幌市教育委員会学校教育推進課長  
石田 健志  
(公財)さっぽろ青少年女性活動協会企画事業部長  
石井 一彦

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>代表団体である「さっぽろ青少年女性活動協会」の財務規定に準じて、金銭の収入事務について適正に実施した。利用料金や参加料などの現金の取り扱いについては、必ず複数の職員による確認を行い、事故防止に努めた。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>市民からの意見があった場合には、速やかに職員間で共有を図り、迅速に回答をするため、教育委員会への共有や報告など連携を図り誠実な対応ができる連絡体制を構築した。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>指定管理に関する各種記録書類等については、代表団体の庶務規定に基づき適正に管理保管した。また、施設利用者や事業参加者へのアンケート調査を実施し、セリフモニタリングを行った。</p>	<p>代表団体の財務規定及び金券等取扱要領を遵守し、適正に業務を遂行した。</p> <p>利用者のご意見やご要望に誠実に対応するための連絡体制を整えることができた。※令和5年度については、市民からの苦情無し</p> <p>アンケート結果を踏まえ、可能な範囲で速やかに業務に反映させることができた。</p>									
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>労働関係法令を遵守し、時間外労働時間の減少と年次有給休暇を適切に取得できるように、業務の効率化と業務分担等により、労働環境の改善に努めた。</p>	<p>法令を遵守し、働きやすい環境を維持することができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">労働関係法令を遵守するとともに、職員一人一人が安心して働ける環境を整備し、職場における労働条件の維持向上を図っている。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	労働関係法令を遵守するとともに、職員一人一人が安心して働ける環境を整備し、職場における労働条件の維持向上を図っている。			
A	B	C	D								
労働関係法令を遵守するとともに、職員一人一人が安心して働ける環境を整備し、職場における労働条件の維持向上を図っている。											

<p>(3) 施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・危機管理対策 緊急連絡体制を整備するとともに、不測の事態を想定した消防系悪に基づいた消防訓練を実施した。ヒグマ対策として、電気柵の整備と定期的な電圧チェック、人感センサーの設置、日常的な見回りの強化に務めた。</li> <li>・市民サービス向上への配慮 日々の草刈りなど園内整備を徹底し、利用者が安心して過ごしやすい環境づくりに努めた。</li> <li>・連絡体制確保 職員及び所管局、設備維持関連業者など、各種関係機関との連絡体制を整備し、職員間で共有を図った。</li> <li>・保険加入 施設賠償責任保険及び損害賠償責任保険に加入し、事故発生時の対応に備えた。</li> </ul> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p>	<p>施設内で事故防止に努め、また、有事の際にも迅速に対応できる緊急連絡体制を整え、市民サービスの向上を図ることができた。</p> <p>施設の万全な状態を維持するため、日常的な自主点検・整備を行った。園内作業においては利用者の支障にならない時間帯に実施するなど配慮した。自主管理のほか、委託業者と連携し、適切に施設管理を遂行することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <th style="width: 25%;">A</th> <th style="width: 25%;">B</th> <th style="width: 25%;">C</th> <th style="width: 25%;">D</th> </tr> </table>	A	B	C	D
	A		B	C	D		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding: 2px;"> <p>清掃業務</p> <p>日常の清掃は指定管理者職員が行い、建物の主要箇所等の美化に努めた。また、特別清掃は専門の業者に委託し、年に2回実施した。</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> <p>警備業務</p> <p>主たる警備業務である夜間警備や年末年始を含めた休館日については、専門の警備会社に委託し警備体制を確保した。また、火災や事故などの緊急対応に備え、緊急連絡体制を作成した。</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> <p>設備保守点検業務</p> <p>日常的な巡回点検については指定管理者職員が実施した。専門的な設備保守点検は、専門業者に委託して実施した。</p> <p>主な実施項目については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽維持管理業務</li> <li>・冷暖房用設備保安管理業務</li> <li>・受水槽清掃業務</li> <li>・温風器整備点検業務</li> <li>・小型温風器整備点検業務</li> </ul> </td> </tr> </table>		<p>清掃業務</p> <p>日常の清掃は指定管理者職員が行い、建物の主要箇所等の美化に努めた。また、特別清掃は専門の業者に委託し、年に2回実施した。</p>	<p>警備業務</p> <p>主たる警備業務である夜間警備や年末年始を含めた休館日については、専門の警備会社に委託し警備体制を確保した。また、火災や事故などの緊急対応に備え、緊急連絡体制を作成した。</p>	<p>設備保守点検業務</p> <p>日常的な巡回点検については指定管理者職員が実施した。専門的な設備保守点検は、専門業者に委託して実施した。</p> <p>主な実施項目については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽維持管理業務</li> <li>・冷暖房用設備保安管理業務</li> <li>・受水槽清掃業務</li> <li>・温風器整備点検業務</li> <li>・小型温風器整備点検業務</li> </ul>	<p>各業務の実施については、利用者等の安全確保を第一に優先するとともに、市民サービスの向上について十分に配慮している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた施設利用者もコロナ禍前の水準に近づいている中で、園内整備を実施するなど、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めている。</p> <p>また、清掃業務、警備業務、施設及び設備保守点検業務等については、前年度に引き続き適切な業務計画のもと、円滑な管理運営を行っている。</p> <p>さらに、地震、火災、風雪害等の災害及び事故による傷病等が発生した場合に迅速かつ的確な対応ができるよう防災計画を定めるとともに日ごろから訓練を行い、利用者・職員等の安全確保を図っている。</p>	
	<p>清掃業務</p> <p>日常の清掃は指定管理者職員が行い、建物の主要箇所等の美化に努めた。また、特別清掃は専門の業者に委託し、年に2回実施した。</p>						
	<p>警備業務</p> <p>主たる警備業務である夜間警備や年末年始を含めた休館日については、専門の警備会社に委託し警備体制を確保した。また、火災や事故などの緊急対応に備え、緊急連絡体制を作成した。</p>						
<p>設備保守点検業務</p> <p>日常的な巡回点検については指定管理者職員が実施した。専門的な設備保守点検は、専門業者に委託して実施した。</p> <p>主な実施項目については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽維持管理業務</li> <li>・冷暖房用設備保安管理業務</li> <li>・受水槽清掃業務</li> <li>・温風器整備点検業務</li> <li>・小型温風器整備点検業務</li> </ul>							
	<p>施設内で事故防止に努め、また、有事の際にも迅速に対応できる緊急連絡体制を整え、市民サービスの向上を図ることができた。</p>						

修繕業務
施設全般の機能、備付備品について施設管理上及び市民等の利用に支障が生じることが無いように速やかに修繕の対応をした。
主な修繕項目については以下のとおり。 ア 職員出入口鍵修理業務 イ サービスタンクブロー管交換作業業務 ウ トラクター修繕業務
備品管理
備品台帳を確認し、部品の保管状態や数量の点検を行い、適宜整備を行った。
駐車場管理
適切な利用のため、指定管理者職員が誘導等を行い、駐車場の管理及び駐車場利用車両に関する安全性を確保した。冬期間については専門業者に委託し除雪業務を実施した。
施設維持管理業務
指定管理者職員が日常的に敷地内外溝及び緑地等の除草を行い、地域のボランティアスタッフにも協力をいただきながら美観保持に努めた。
消防設備保守点検業務
専門業者に委託し、保守点検を実施した。(2回[機能・総合点検])
自動扉開閉装置保守点検業務
専門の業者に委託し自動扉保守点検を実施した。

## ▽ 防災

消防設備保守点検および初期消火の消防訓練を実施した。消防設備については、保守点検業務を年2回専門業者に委託して実施した。

有事に備えて、施設開設時に施設利用者を含めて避難訓練を実施した。

訓練実施日	実施内容	想定
令和5年 9月28日	総合訓練 避難・初期消 火・誘導	火災 温水ボイラー からの出火
令和6年 3月22日	総合訓練 避難・初期消 火・誘導	火災 温水ボイラー からの出火

(4)事業の計画・実施業務	▽ 農業体験の機会の提供に関する業務		A B C D
	<p>市立幼稚園や小学校の子どもたちに農業体験を通じて自然環境保護や食べ物の大切さを学ぶ機会とした。希望するすべての学校に向けて実施し、限られた時間のなかで有益な体験学習となるように事業プログラムを見直し、視覚的に理解を促すパネルを昨年度より改良し、クイズも取り入れるなど工夫し、わかりやすさを意識して内容の充実を図った。</p> <p>(体験農場実施校数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畑作 22校</li> <li>・水田 36校</li> <li>・果樹 18校</li> </ul> <p>教材用生物の提供に関する業務</p> <p>教材用生物(稲、ヘチマ、コオロギ、カイコ)の配付について、用意する生物や苗の準備を計画的に行った。温度管理や水の管理を徹底し、教材を安定的に提供することができるよう努めた。配布当日の会場混雑を避けるために提供時の工夫として、あらかじめ仕分けをしたり、受け取り時間に合わせてスムーズな配布ができるよう工夫をして臨んだ。</p> <p>(提供生物教材)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>稲 96校</li> <li>ヘチマ 193校</li> <li>コオロギ 179校</li> <li>カイコ 161校</li> </ul> <p>▽ 自然体験や展示に関する市民の自主活動及び交流の</p> <p>市民ボランティア事業として、ボランティアの方々に協力いただき、園内美化に関わる業務の補助や体験農場や自然体験の事業の補助として参加していただくことができた。〈市民ボランティア自主活動事業〉</p> <p>また、みなみの杜高等支援学校との「教育活動」としての連携を行い、教育機関の自然学習の機会を提供した。</p> <p>▽ 自然体験や展示に関する相談業務</p> <p>生物や展示内容などについての相談業務を日常的に行い、市民やマスメディアからの問い合わせ業務に対応した。受けた質問などは記録し、職員間での共有を図り、回答に際しても十分に精査し正確な情報を提供できるよう丁寧に対応した。</p>	<p>説明資料として活用しているパネルをより分かりやすくなるよう改良し、クイズなども出題し、楽しみながら学ぶことができるよう、より効果的に体験機会を提供することができた。</p> <p>発芽率の向上の取り組みのほか、発芽後の生育状況に十分に注意しつつ、不測の事態に備えて予備分も育て、安定的に供給できる状況を整えることができた。</p> <p>市民ボランティアとの情報共有や交流を図り、自然体験ボランティアにかかる要望などに対して必要な支援を行うことができた。</p> <p>生物に関する質問など、専門家の意見を確認し正確で丁寧な対応を行うことができた。</p>	<p>事業の計画については、当園の設置目的を達成することができる事業を企画・立案している。</p> <p>実施においては、利用する市民や園・学校の希望にに応えるよう適切かつ円滑に業務を実施している。</p> <p>学校を対象とした体験農場については、特に畑作の利用については昨年度より倍増するなど、概ね増加、教材用生物の提供については、例年並みの申し込みがあった。</p> <p>市民向けのプログラムの企画及び発信が引き続き課題であり、市民の利用者数の増加を目指した取り組みの拡充が必要である。</p>

<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="384 197 979 501"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R4年度実績</th> <th>R5年度計画</th> <th>R5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">多目的室</td> <td>件数(件)</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>84</td> <td>140</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>1.4</td> <td>4.1</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">工作室</td> <td>件数(件)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>44</td> <td>50</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認 0件、 取消し 0件、 減免 0件、 還付 0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>ホームページやSNSを活用し、北方自然教育園の情報を定期的に発信し、また、園内マップを作成し施設への興味関心を持っていただけよう努めた。</p>			R4年度実績	R5年度計画	R5年度実績	多目的室	件数(件)	4	12	15	人数(人)	84	140	192	稼働率(%)	1.4	4.1	5.0	工作室	件数(件)	3	3	1	人数(人)	44	50	44	稼働率(%)	1.0	1.0	0.3	<p>多目的室に関しては定期的な利用があり、利用件数の増加につながった。工作室に関しては、目的が限られているため、利用件数が伸び、今後の課題となった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>施設の使用申込の受付、使用の承認、利用料金の徴収等に関する業務を円滑に行っている。昨年度の課題であった市民の認知度が低いことによる利用者数の落ち込みについては、多目的室については改善が見られ、計画値も達成しているが、使用目的が限られる工作室が利用者数が伸び悩んでいることも含め、さらなる工夫や改善が求められる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>施設の使用申込の受付、使用の承認、利用料金の徴収等に関する業務を円滑に行っている。昨年度の課題であった市民の認知度が低いことによる利用者数の落ち込みについては、多目的室については改善が見られ、計画値も達成しているが、使用目的が限られる工作室が利用者数が伸び悩んでいることも含め、さらなる工夫や改善が求められる。</p>			
		R4年度実績	R5年度計画	R5年度実績																																						
多目的室	件数(件)	4	12	15																																						
	人数(人)	84	140	192																																						
	稼働率(%)	1.4	4.1	5.0																																						
工作室	件数(件)	3	3	1																																						
	人数(人)	44	50	44																																						
	稼働率(%)	1.0	1.0	0.3																																						
A	B	C	D																																							
<p>施設の使用申込の受付、使用の承認、利用料金の徴収等に関する業務を円滑に行っている。昨年度の課題であった市民の認知度が低いことによる利用者数の落ち込みについては、多目的室については改善が見られ、計画値も達成しているが、使用目的が限られる工作室が利用者数が伸び悩んでいることも含め、さらなる工夫や改善が求められる。</p>																																										
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <p>ホームページ及びSNSを中心に各種事業の情報発信などを積極的に行った。ウェブアクセシビリティ適合レベルAAに準拠し、誰もが閲覧しやすい環境づくりに努めた。(ホームページ閲覧数31,361人)</p> <p>また、広報媒体として、さっぽろ・こども情報紙「あそぼ」(発行部数約85,000部)にも施設紹介を行った。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前指定管理者が、現指定管理者である北方コンソーシアムの代表団体「(公財)さっぽろ青少年女性活動協会」のため、滞りなく引き継ぐことができた。</p>	<p>各種事業の情報発信はホームページやSNSを活用し、積極的に行うことができた。また、日常の様子もSNSで発信し広報活動に取り組んだ。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>ホームページの更新、情報誌やSNS等を活用した広報を行い、施設のPRや情報提供に努めている。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>ホームページの更新、情報誌やSNS等を活用した広報を行い、施設のPRや情報提供に努めている。</p>																																		
A	B	C	D																																							
<p>ホームページの更新、情報誌やSNS等を活用した広報を行い、施設のPRや情報提供に努めている。</p>																																										
<p>2 自主事業その他</p>																																										
<p>▽ 自主事業</p> <p>「ようこそ北方自然教育園」全5回【NPO団体:1団体、児童会館:6館】(参加者合計169名)</p> <p>果樹の収穫体験および施設の見学など、子どもや子どもにかかわる市民に広く利用してもらい、施設理解を促す事業を実施した。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>札幌市内の企業を活用し、専門的な業務の依頼や物品の調達などを進めた。また、福祉施策として高齢者の雇用環境を確保し、60歳以上の高齢者を雇用了。</p>		<p>子どもたちや市民の方へ、果実の収穫を通して、体験活動の機会の提供と施設理解と周知を図ることができた。</p> <p>専門知識を生かした業務発注や、職員雇用を行うことができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>当園の設置目的を踏まえ、適切に計画・実施されている。市民団体に向けての事業実施も引き続き拡充を図っていく必要がある。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>当園の設置目的を踏まえ、適切に計画・実施されている。市民団体に向けての事業実施も引き続き拡充を図っていく必要がある。</p>																																		
A	B	C	D																																							
<p>当園の設置目的を踏まえ、適切に計画・実施されている。市民団体に向けての事業実施も引き続き拡充を図っていく必要がある。</p>																																										



## 3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果			A	B	C	D
実施方法	学習館入館者及び事業利用者に対して、アンケート用紙を配布して任意にご回答いただいた。	アンケート結果としては、おおむね好評価をいただいております。展示物の豊かさや職員の接遇についても一定の評価をいただくことができました。一方で、認知度の低さをご指摘いただくものがあった。今後、PR活動についても改善を図りたい。	当園の利用について、利用者対象のアンケート調査を行い、その結果を業務改善に生かしている。 結果については前年度の良好な結果を維持しており、アンケート自由記述でのご意見に応えられるよう、工夫改善を検討している。			
結果概要	施設の総合的な満足度として学習管内展示室、学習館展示物、園内掲示、自然環境に関する調査及び職員の接遇に関する内容により調査を実施した。 ・総合的な満足度としては、目標91%に対して、89.6%となった。目標値は下回ったが、おおむね達成することができた。 ・職員の接遇に関しては、94.1%となり、昨年度とほぼ同数となった。					
利用者からの意見・要望とその対応	アンケート自由記述欄では以下のご意見を頂戴した。 ・標本の種類が豊富で子供たちも楽しそうでした ・家族で利用しました。入館料も安く本当に触れ合える貴重な場所です。職員の方も親切に案内してくれました。有難うございました。 要望としては、 ・魚系を増やしていただけると嬉しい。 ・ふれあいコーナー作ってほしい。 ・どれくらい子供や地域の人が利用しているかわかりませんが大切にされるべきだと思います。利用者が増えてくれたらうれしいです。PR頑張ってください。 というものが上がっており、魚系については、要望を踏まえ、市内の川に生息している魚を数種類展示し改善を図った。ふれあいコーナーについては、実施可能な方法を検討している。					

## 4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)				
収入	32,027	32,088	61	収入については、利用料金が若干増加しており、次年度においてもさらなる利用増を図っていきたい。また、支出に関しては、令和9年度までの状況を踏まえて、可能な限り経費を切り詰めた形で、運営することができた。単年度で見ると収支としては増額とすることができた。			
指定管理業務収入	32,027	32,088	61				
指定管理費	31,755	31,755	0				
利用料金	136	128	▲ 8				
その他	136	205	69				
自主事業収入	0	0	0				
支出	32,455	30,501	▲ 1,954				
指定管理業務支出	32,455	30,501	▲ 1,954				
自主事業支出	0	0	0				
収入-支出	▲ 428	1,587	2,015				
利益還元			0				
法人税等			0				
純利益	-428	1,587	2,015				

## &lt;確認項目&gt; ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 職員全体で、運営にかかるコスト意識を持ち、不要な支出を抑え低コスト高パフォーマンスを念頭に業務を推進した。	適 : 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ・札幌市個人情報保護条例および当財団個人情報保護規程に基づき個人情報の取扱いについては適正に処理を行っている。 ・情報公開条例に基づき適正に対応を行っている。 ・札幌市行政手続条例に基づき適正に処理を行っている。 ・札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、暴力団が利することにならないよう、第三者委託および物品購入等において、暴力団および暴力団関係事業者と契約しないよう積極的に取り組んだ。	適 : 不適 条例に基づき、適正に対応を行っている。

## Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
<p>「北方コンソーシアムによる安定的かつ持続可能な施設運営を基本方針として、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会を代表団とし特定非営利法人ネイチャープログラムデザインを構成団体として、「北方コンソーシアム」という新たな体制で、令和5年度より指定管理施設の管理運営を行うこととなった。</p> <p>北方自然教育園は札幌市の野外教育施設の一つとして、市内の教育機関を中心に自然体験活動の機会を、安定的に提供することを第一義とし他施設であることから、コンソーシアムとして、同じ目的のもとで各団体相互に連携を図り、さっぽろ青少年女性活動協会の管理運営実績や健全運営のノウハウと、ネイチャープログラムデザインの持つ農業に関する知識と経験、農業体験や自然体験への指導ノウハウ等を十分に活用して、さまざまな課題解決を促進し、安定的かつ持続可能な施設運営につなげるよう推し進めることができた。</p> <p>北方自然教育園の目的の一つである「生物教材配布」や農業体験に関しては、令和5年度は天候不順の日が多く、生育状況が芳しくない状況ではあったが、希望する学校に確実に活動とを提供するために、専門知識を持つ職員が温度管理や収穫時期の調整など様々な工夫を施し、無事希望通りの活動を提供することができた。</p> <p>運営協議会でも話題となった、タイムラプスの導入や藤野小学校とのオンラインでの学習機会の提供を、試行的ではあるが行うことができた。遠方にある学校など現地まで来ることが難しい学校などに対しての対応策として、SNSやホームページ、オンラインなどを活用した体験機会の提供を検討することができた。今後、より具体的方策を打ち出すべく、職員間で情報共有を図りながら進めていく。</p> <p>指定管理期間の初年度として、また、北方コンソーシアムとして新たな組織体制の中、各構成団体職員が、統括責任者、職務代理者を中心に円滑に実施することができた。</p>	<p>基本方針「北方自然教育園をより魅力ある施設へ」</p> <p>学校教育における自然体験を学ぶ野外教育補助施設として、自然体験活動の機会を、安定的に提供することを第一義とするとともに、利用ニーズにも積極的に取り組み、教育機関から求められ、必要とされる魅力ある施設づくりを目指す。</p> <p>市民が北方自然教育園を利用したく、利用しやすい施設づくりを推し進めるため、学習館内の展示物の展示工夫、外部及び関係団体との連携も進めた事業展開、園内での公園機能の充実を図り、新たな利用層の獲得やリピーター層の満足度を向上させていくよう取り組んで行く。</p> <p>管理面では、引き続きエネルギー使用量の削減に努めるとともに、飼育方法や管理方法の工夫を行い、経費削減に努める。</p> <p>【重点取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部及び関係団体との連携による各種事業、展示物の活性化に努める。</li> <li>・園内での公園機能に、あそびの要素を加え、ファミリー層をターゲットに、日常的リピーター利用者の増加を図る。</li> <li>・施設の管理運営方法を見直し、経費削減を進める。</li> </ul>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>令和5年度は、当園の設置目的を達成することのできる事業として、前年度に引き続き体験等の学習機会の提供や生物教材の配付、出前授業の取組等を行うとともに、SNSを活用し、より広範囲にわたる学習機会の提供を行うなど、学校の教育活動を支える事業を推進し、札幌市の教育に大きく寄与している。</p> <p>また、ホームページや情報誌、SNS等の活用による利用者増加を目指す取組も引き続き実施している。</p> <p>今後も積極的にコスト削減に取り組み、収支の改善に努め、本施設の設置目的達成のため、業務を推進することを期待する。</p>	<p>野外教育施設として、市民の施設及び事業内容についての認知度が低いことが、実際に施設を利用した利用者のアンケートなどからも確認された。利用者の増加のため、これまで以上に魅力ある取組を計画・実施の上、市民へどのようにその情報を届けるか、工夫が求められる。</p> <p>また、新規の利用者を増やすため、令和5年度から始めている市民団体への事業実施の取組を継続するなど、工夫が必要である。</p>